

文献一覽

文献一覧

- 秋庭鉄之. 1976. ふ化事業百年史. さけます友の会.
- 秋庭鉄之. 1980. カバチェッポの移殖「千歳 さけ・ますふ化事業創設の記録」 北海道さけます友の会, 101-109pp.
- 秋庭鉄之. 1993. 千歳と姫鱒. 支笏湖ヒメマス移殖 100 年・養殖ヒメマス出荷 10 周年記念誌. 千歳ヒメマス記念事業実行委員会.
- 青森県内水面水産試験場. 2004. 十和田湖におけるヒメマス親魚採捕及び採卵状況, 湖沼環境基盤情報整備事業報告書, 十和田湖. 98.
- 伴真俊・鈴木俊哉. 2003. 屈斜路湖におけるベニザケの人工増殖. さけ・ます資源管理センター技術情報. 169: 13-23.
- Bernoth, E.-M., A. E. Ellis, P. J. Midtlyng, G. Olivier, and P. Smith .1997. Furunculosis. Multidisciplinary fish disease research. 529pp, Academic Press, U.S.A.
- Bullock, G. L. and H. M. Stuckey. 1975. *Aeromonas salmonicida*: Detection of asymptotically infected trout. The Prog. Fish-Cult., 37, 237-239.
- Burgner, R. L. 1991. Life history of sockeye salmon (*Oncorhynchus nerka*). In eds. Groot, C. and L. Margolis, "Pacific salmon life histories", p. 3-117, UBC Press, Vancouver.
- 江草周三. 1978. サケ科魚類のせつそう病. 魚の感染症, 128-146, 恒星社厚生閣, 東京.
- 江口弘・黒萩尚・吉住喜好・佐々木正三. 1954. 支笏湖施肥試験 (予報) 孵化場 試報. Vol9, No.1,2.
- Emmerich, R., and E. Weibel .1894. Uber eine durch Bacterien erzeugte Seuche unter den Forellen. Archiv fur Hygiene, 21, 73-77.
- Foote, C. J., C. C. Wood and R. E. Withler. 1989. Biochemical genetic comparison of sockeye salmon and kokanee, the anadromous and nonanadromous forms of *Oncorhynchus nerka*. Can. J. Fish. Aquat. Sci., 46: 149-158.
- Foote, C. J., C. C. Wood, W. C. Clarke, and J. Blackburn. 1992. Circannual cycle of seawater adaptability in *Oncorhynchus nerka*: genetic differences between sympatric sockeye salmon and kokanee. Can. J. Fish. Aquat. Sci. 49: 99-109.
- 藤村信吉編纂. 1894. 北海道鮭鱒人工孵化事業報告. 明治 27 年, 北海道庁内務部水産課.
- 藤村信吉篇. 1900. かばちえつぷノ移殖. 千歳鮭鱒人工孵化場事業報告.
- 藤田経信. 1930. 水産 19 世紀史. 汀鷗会.
- ふ化場資料. 1972. 支笏湖の生物生産に関する調査、昭和 47 年度事業成績書.
- 元田 茂. 1950. 北海道湖沼誌. 水産孵化場試験報告, 5(1): 1-96.
- Gross, M. R. 1984. Sunfish, salmon, and the evolution of alternative reproductive strategies and tactics in fishes. In eds. Potts, G. and R. Wootton, "Fish reproduction: strategies and tactics", 55-75, Academic Press.

- Gross, M. R. 1987. Evolution of diadromy in fishes. In eds. Dadswell, M. J., R. J. Klauda, C. M. Moffitt, R. L. Saunders, and R. A. Rulifson. "Common strategies of anadromous and catadromous fishes", American Fisheries Society Symposium 1, 14-25.
- 半田芳男・澤 賢蔵. チミケツブ湖姫鱒調査復命書, 北海道庁, 1926 ; 36pp.
- 半田芳男. 1932. 鮭鱒人工蕃殖論, 北海道鮭鱒孵化事業協会. 278pp.
- 畑井ら. 1976. ヒメマスのみズカビ病について、第 2 報 病魚の患部より分離された *Saprolegnia* sp.. 昭和 51 年度日本水産学会講演要旨.
- 畑井ら. 1977. 魚類寄生みズカビの新種、*Saprolegnia shikotsuensis* sp. nov.について、魚病研究 12, 105-110.
- 疋田豊彦. 1967. 西別川に溯上した降海型ベニザケ及び湖沼産大型ヒメマスの数例. 北海道さけ・ますふ化場研報, 21: 71-76.
- 疋田豊彦. 1969. 沿岸水域で採取されたヒメマス幼魚とその鱗に関する 1, 2 の知見. 北海道さけ・ますふ化場研報, 23: 23-28.
- 広井ら. 1976. ヒメマスのみズカビ病に関する研究 I. 支笏湖における発生状況とその組織学的観察結果. 昭和 51 年度日本水産学会講演要旨集.
- 広井 修. 1990. サクラマスの増養殖技術 ―マリーンランディング計画の成果―. 魚と卵, 159: 1-5.
- 北海道環境生活部環境室自然環境課. 2001. 北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック 2001. 北海道, 124.
- 北海道公害防止研究所. 1990. 北海道の湖沼.
- 北海道さけ・ますふ化場根室支場. 1971. ベニザケを創り出す ―ベニザケ生産事業による放流と回帰の成績について―. 魚と卵, (137): 1-9.
- 北海道さけ・ますふ化場. 1990-1997. 北海道さけ・ますふ化場事業成績書, 平成元年度～平成 8 年度
- 北海道鮭鱒孵化場. 昭和 9 年度～昭和 14 年度. 鮭鱒孵化事業報告.
- 北海道水産孵化場. 昭和 15 年度. 鮭鱒孵化事業場報告.
- 北海道水産孵化場. 昭和 16 年度～昭和 26 年. 度事業報告.
- 北海道立水産孵化場. 池中養殖ヒメマスの成熟試験. 昭和 44-48 年度事業成績書, 1969-1973.
- 北海道立水産孵化場. 倶多楽湖ヒメマス採苗試験. 平成 44-47 年度事業成績書, 1970-1973.
- 北海道立水産孵化場. 種苗生産事業化試験. 昭和 44-48 年度事業成績書, 1970-1974.
- 北海道立水産孵化場. 1976. 昭和 50 年度事業成績書
- 北海道立水産孵化場. 1977. 昭和 51 年度事業成績書
- 北海道立水産孵化場. ヒメマスの種苗生産研究. 昭和 57-62 年度事業成績書,

- 1982-1987.
- 北海道立水産孵化場. ヒメマスの種苗生産研究. 昭和 63 年度事業成績書, 1988 ; 164-166.
- 北海道立水産孵化場. ヒメマスの種苗生産研究. 平成 1 年度事業成績書, 1989 ; 177-179.
- 北海道立水産孵化場. 湖における陸封型魚類の適正管理に関する研究. 平成 5 年度事業成績書, 1994 ; 143-145.
- 北海道立水産孵化場. 内水面増養殖技術指導. 平成 15 年度事業成績書, 2004 ; 印刷中.
- 北海道立水産孵化場. 昭和 27 年度～昭和 28 年度. 事業成績書.
- 北海道庁. 昭和 2 年度～昭和 8 年度. 鮭鱒孵化事業報告.
- 北水試. 1927. 支笏湖に於けるひめますに就いて. 北水試. 旬報. 1 号.
- 北水試. 1928. 支笏湖産姫鱒卵巣萎縮症. 北水試. 旬報. 45 号.
- 北水試. 1931. 支笏湖におけるひめます親魚並びに採卵状況. 北水試. 旬報. 153 号
- 北水試. 1931. 支笏湖べにます蕃殖状況. 北水試. 旬報. 110 号.
- 保科利一・江草周三・四籠安正. 1965. ?瘡病. 川本信之編. 養魚学総論, 248-255, 恒星社厚生閣, 東京
- 五十嵐彦仁. 1939. 支笏湖における施肥試験. 北水試. 旬報. 412 号.
- 飯田浩二・向井 徹・石井清彦. 魚群探知機を用いた倶多楽湖ヒメマスの資と生態に関する研究. 昭和 62 年度倶多楽湖ヒメマス資源調査報告書, 北海道大学水産学部, 1988 ; 36pp.
- 今田和史. 2000. 支笏湖の水質環境と漁業の変遷 (高村典子編、湖沼環境の変遷と保全に向けた展望) 国立環境研究所研究報告
- 今田和史・安富亮平・工藤智. 2002. 2001、支笏湖と洞爺湖が凍った理由. 魚と水. 38 : 59-68
- 今田和史. 2004. 摩周湖での魚類増殖のあゆみ. (国立環境研究所地球環境研究センター・北見工業大学・北海道環境科学研究センター編) GEMS/Water 摩周湖モニタリングデータブック, 57-65pp.
- 井田 齊・奥山文弥. 2000. サケ・マス魚類のわかる本. 山と溪谷社. 247pp.
- 井上 京. 2001. 釧路湿原. 1-7p. 日本の水環境 1. 北海道編 (日本水環境学会編) .
- Ishida, T. 1987. Freshwater harpacticoid copepods of Hokkaido, northern Japan. Sci. Rep. Hokkaido Salmon Hatchery, 41: 77-119.
- 石田昭夫. 1951. 湖沼甲殻類プランクトンの定量採集と水平分布についての二三の観察. 水産孵化場試験報告, 6(1,2): 181-190.
- 石田昭夫. 1974. 支笏湖の甲殻類プランクトンの生息数 1971～1973 年の観察結果. 北海道さけ・ますふ化場研報, 28: 27-31.
- 石田昭夫. 1978. 支笏湖の甲殻類プランクトンの生息数 1974～1977 年の観察結果. 北海

- 道さけ・ますふ化場研報, 32: 59-62.
- 石田昭夫. 1982. 支笏湖の底生性枝角類および橈脚類. 北海道さけ・ますふ化場研報, 36: 75-78.
- 石田昭夫. 1984. ソコミジンコ *Bryocamptus* 属の近縁 3 種の北海道および本州における分布について. 北海道さけ・ますふ化場研報, 38: 43-49.
- 伊藤一隆. 1888. 本道に鮭魚人工孵化場の設立を望む(演説). 北水協会報告. 第 35 号.
- 伊藤外夫. 1972. 特殊な鱗相をもったベニザケ *Oncorhynchus nerka* (Walbaum)の沖合における分布について. 遠洋水研報, 7: 125-135.
- 巖佐庸ら編. 2003. 生態学事典, xxii+683. 共立出版, 東京.
- 株式会社アート潜水企画. 環境省委託事業.2003. 平成 14 年度支笏湖地区及び水中植生調査報告書.
- 帰山雅秀・清水幾太郎・蠣崎 宏. 1987. 飼育ベニザケにおける海水適応能力の季節変化. 北海道さけ・ますふ化場研報, 41: 129-135.
- 帰山雅秀. 1991. 支笏湖に生息する湖沼型ベニザケの個体群動態. 北海道さけ・ますふ化場研究報告,45:1-24.
- Kaeriyama, M., S. Urawa, and T. Suzuki. 1992. Anadromous sockeye salmon (*Oncorhynchus nerka*) derived from nonanadromous kokanees: life history in Lake Toro. *Sci. Rep. Hokkaido Salmon Hatchery*, 46: 157-174.
- 帰山雅秀. 1994. ベニザケの生活史戦略: 生活史パタンの多様性と固有性. 後藤晃・塚本勝巳・前川光司編. 川と海を回遊する淡水魚: 生活史と進化. p. 101-113, 東海大学出版会.
- Kaeriyama, M., S. Urawa, and M. Fukuwaka. 1995. Variation in body size, fecundity, and egg size of sockeye and kokanee salmon, *Oncorhynchus nerka*, released from hatchery. *Sci. Rep. Hokkaido Salmon Hatchery*, 49: 1-9.
- Kaeriyama, M. and H. Ueda. 1998. Life history strategy and migration pattern of juvenile sockeye (*Oncorhynchus nerka*) and chum salmon (*O. keta*) in Japan: a review. *N. Pac. Anadr. Fish Comm. Bull.* (1): 163-171.
- 帰山雅秀. 1999. 十和田湖のヒメマス資源管理. 国立環境研報, (146): 36-40.
- 帰山雅秀. 2000. ベニザケを例にみる「通し回遊魚」の生態. *Ajico News* (197): 9-16.
- 帰山雅秀. 2004. サケの個体群生態学. サケ・マスの生態と進化(前川光司編), pp. 137-163. 文一総合出版, 東京.
- 帰山雅秀. ブラウントラウト. 外来種ハンドブック(日本生態学会編), p. 113. 地人書館, 東京.
- 環境省 公共用水域水質測定結果
- 環境省 自然観光局 生物多様性センターホームページ
<http://www.biodic.go.jp/jpark/np/sikotu.html>
- 環境庁(現環境省)自然保護局野生生物課編. 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生

- 生物-レッドデータブック-9植物II(維管束植物以外). 財団法人自然環境研究センター,228.
- 環境庁. 平成7年8月. 支笏洞爺国立公園・指定書及び公園計画書.
環境庁告示第59号. 生活環境の保全に関する環境基準.
<http://www.env.go.jp/kijun/mizu.html>
- 菅野芳雄,安野正之,今田和史,伊藤富子. 1987. 北海道支笏湖・洞爺湖およびウトナイ湖のユスリカ相. 日本陸水学会第52回大会講演要旨集,123.
- 川口祝三. 1880. 養魚景況報告.新札幌市史, 1986, 史料篇2巻.
- 川井唯史,中田和義,鈴木芳房. 札幌市周辺におけるニホンザリガニ *Cambaroides japonicus*(De Haan,1841)の生息地数の減少状況. 札幌市豊平川さけ科学館館報,2001;13,21-26
- 川村洋司. 高見人工湖におけるヒメマス親魚捕獲採卵結果について. 魚と水, 1986 ; 24.
- 規矩智生(菊地覚助). 支笏湖. 魚と卵, 1950 ; 1 (8) : 6-12.
- 規矩智生(菊地覚助). 洞爺湖. 魚と卵, 1950 ; 1 (11) : 22-26.
- 規矩智生・菊地覚助. 1950. 追憶支笏湖. 北. 水産孵化場, 魚と卵, 8月号.
- 木村鎚郎・川内滋・西田又八郎. 1939. 「チミケップ」湖調査概要. 北海道水産試験場事業旬報, 413: 303-306.
- 木村喬久. 1975. 魚類, 甲殻類の病原微生物 (2) ウイルス. 水産学シリーズ, 10. 海洋の生態系と微生物(日本水産学会編). 恒星社厚生閣. p. 97-111.
- 岸田敏明. 1937. 支笏湖の移殖魚に就いて. 鮭鱒彙報, 9(31): 25-30.
- 北川礼澄. 1975. 北海道南部五湖沼の底生動物相の研究. 陸水学雑誌,36(2):48-54.
- 小林哲夫・佐野誠三・石田昭夫. 1969. III・2 人間活動と魚類生産.A.増殖,C.移殖.陸水生物研究法,講談社.
- 国土交通省水文水質データベース <http://www1.river.go.jp/>
- 近藤繁生,平林公男,岩熊敏夫,上野隆平. 2001. ユスリカの世界. 培風館.
- 湖沼利用水産養殖研究会. 大正10年7月. 支笏湖、千歳支場参考書綴、協議問題並其ノ経過大要.
- 小山達也. 1991. ベニザケ(ヒメマス). 138-141. 漁業生物図鑑 新北のさかなたち(上田吉幸・前田圭司・嶋田 宏・鷹見達也 編). 北海道新聞社.
- 黒萩 尚. 1958. 北海道, 支笏湖に於けるプランクトン出現状況の経年変動に関する研究 (I)(昭和27年5月より昭和32年6月までの沖部定点に於けるプランクトンの遷移状況について). 北海道さけ・ますふ化場研報, 12: 97-110.
- 黒萩 尚・佐々木正三. 1959. 北海道支笏湖に於ける動物プランクトンの垂直分布の季節変化. 北海道さけ・ますふ化場研報, 13: 51-55.
- 黒萩 尚・佐々木正三. 支笏湖ヒメマスの生態調査-I 昭和31年の異常卵巣成熟魚の多数出現について. 北海道さけ・ますふ化場研報, 1961 ; 16 : 137-143.

- 黒萩 尚・佐々木正三. 支笏湖ヒメマス生態調査—IV 1952~'56年成魚の鱗相と年齢. 北海道さけ・ますふ化場研報, 1965; 20: 119-142.
- 黒萩 尚. 支笏湖のヒメマスに関する未発表の記録. 北海道さけ・ますふ化場研報, 1967; 22: 73-92.
- 許成基・相山忠男・原内裕・岸政美・波松章勝・野村芳美・酒井健司. 1994. 支笏湖の水と底質-その1-予報. 環境地質学シンポジウム論文集, 4.
- 眞山 紘. 支笏湖におけるヒメマスの食性について. 北海道さけ・ますふ化場研報, 1977; 32: 49-56.
- 眞山 紘. 1978. 支笏湖におけるヒメマスの食性について. 北海道さけ・ますふ化場研報, 32: 49-56.
- 眞山 紘・徳井利信. 1989. ベニザケ・ヒメマス. 191-201. 山溪カラー名鑑 日本の淡水魚 (川那部浩哉・水野信彦・細谷和海 編), 山と溪谷社.
- McDowall, R. M. 1987. The occurrence and distribution of diadromy among fishes. In eds. Dadswell, M. J., R. J. Klauda, C. M. Moffitt, R. L. Saunders, and R. A. Rulifson. "Common strategies of anadromous and catadromous fishes", American Fisheries Society
- 三原健夫・江口弘. 1955. 明治32年より昭和30年に至る支笏湖姫鱒親魚(*Oncorhynchus nerka*)の体長, 体重, 肥満度の出現並びにその変動に対する考察. 孵化場試報. Vol.10. No.1,2.
- 三沢勝也・菊池基弘・野澤博幸・帰山雅秀. 2001. 外来種ニジマスとブラウントラウトが支笏湖水系の生態系と在来種に及ぼす影響. 国立環境研報, (167): 125-132.
- 宮地傳三郎・川那部浩哉・水野信彦. 1963. 原色日本淡水魚類図鑑. 保育社. 462pp.
- 水野寿彦・高橋永治. 1991. 日本淡水動物プランクトン検索図説. 東海大学出版会.
- 森支場. 1971. 養成ひめます魚肉着色試験. 魚と水, 5: 24-30.
- 長沢有晃. 1969. ベニザケの母川回帰に思う. さけとます, 18: 4-21.
- 長内 稔・田中寿雄. 摩周湖に移植したヒメマスについて. 北海道立水産孵化場研報, 1971; 26: 33-45.
- 長内 稔・田中寿雄. 摩周湖に棲みついた移植ヒメマスについて. 魚と水, 1972; 7: 1-10.
- 長内 稔. 摩周湖に生息する移植魚ヒメマスの消長. 魚と水, 1981; 16: 3-27.
- Neave, F. 1958. The origin and speciation of *Oncorhynchus*. Trans. Roy. Soc. Can., 55: 25-39.
- 西村三郎. 1980. 日本海の成立 [改訂版]. 228pp. 築地書館, 東京.
- 野川秀樹. 1993. サクラマス増殖事業の概要. 魚と卵, 162: 29-37.
- 野村哲一・木村喬久. 1981. 北海道内の主要河川に溯上するサケ (*Oncorhynchus keta*) カラフトマス (*Oncorhynchus gorbusha*) サクラマス (*Oncorhynchus masou*) ヒメマ

- ス (*Onocorhynchus nerka*) 親魚における *Aeromonas salmonicida* の保有状況. 魚病研究, 16, 69-74.
- 野村哲一・吉水守・木村喬久. 1991a. 外観正常なサケ, カラフトマス及びサクラマス成熟親魚の *Aeromonas salmonicida* 保有状況. 魚病研究, 26, 139-147.
- 野村哲一・吉水守・木村喬久. 1991b. サケ及びサクラマスの各生活期における *Aeromonas salmonicida* 保有状況. 魚病研究, 26, 149-153.
- 野村哲一・吉水守・木村喬久. 1992. サケ, カラフトマス及びサクラマス成熟親魚体腔液からの *Aeromonas salmonicida* の検出. 魚病研究, 27, 69-72.
- 野村哲一. 1998. サケ科魚類の細菌病. 月間海洋, 14, 20-25.
- 野村哲一・笠井久会. 2002. さけ・ます増殖事業における防疫対策. 魚と卵, 169, 1-12.
- 岡田理成. 2003. アメマス *Salvelinus leucomaenis* (Pallas) の生活史 2 型の形態と摂餌生態に関する比較研究. 北海道東海大学工学部卒業論文, pp. 39.
- 大東信一・久保達郎・大久保正一. 1948. 支笏湖に於けるヒメマスの生態 (予報). 水産孵化場試験報告. 3(1): 29-32.
- 大島泰雄編. 在来マス「水産養殖ハンドブック」 水産社、1969 ; 253-264pp.
- 大高明史. 2001. 北日本の貧栄養カルデラ湖深底部における水生ミミズ相. 国立環境研究所報告, 167:106-114.
- Ricker, W. E. 1940. On the origin of kokanee, a fresh-water type of sockeye salmon. Trans. R. Soc. Can., 34, section V: 121-135.
- 酒井健司. 1991. 支笏湖, オコタンペ湖及び支笏湖に流入する河川に生息する大型水生動物. かぼつ・ちえぶ, (3): 16-19.
- さけ・ます資源管理センター. 1998-2004. さけ・ます資源管理センター業務報告書, 平成9年度～平成15年度.
- 澤賢蔵. 1932. 姫鱒の餌料に就いて. 鮭鱒彙報, 4(2): 9-11.
- Seki, J. and I. Shimizu. 1991. Characteristics of an oligotrophic lake in Hokkaido -II. Annual and seasonal variations in the biomass of zooplankton. In "Proceedings of the symposium on "Limnological comparison of Chinese and Japanese eutrophic lakes" at
- 関沢明清監修. 1788. 養魚法一覽. 勸農局版、(「魚と卵」、昭和25年1月号、北海道水産孵化場).
- 資料, 昭和2,3,4,6,7,8,10,11,12,14,15,36年度事業報告. 北海道さけ・ますふ化場.
総務庁国勢調査
- 社団法人日本水産資源保護協会. 2000.水産用水基準 (2000年版). 平成12年12月. 社団法人日本水産資源保護協会
- 社団法人日本水産資源保護協会. 2004. 湖沼環境の基盤情報整備事業報告書 -豊かな自然

- 環境を次世代に引き継ぐために- 十和田湖. 94p.+17?
- 高橋正樹・小林哲夫編. 1998. フィールドガイド日本の火山北海道の火山. 築地書館.
- 鷹見達也・木下哲一郎. 1990. 北海道支笏湖および茂辺地川産アメマスの形態比較. 北海道大学水産学部研究彙報, 41(3): 121-130.
- 高山肇・菊池基弘・若菜勇. 2002. 北海道の湖沼. 外来種ハンドブック (日本生態学会編), p. 254-256. 地人書館, 東京.
- 高安三次・五十嵐彦仁・澤賢蔵. 1930. 阿寒湖 (昭和2年) 調査. 水産調査報告書, 第21冊, 67-92. 北海道水産試験場.
- 武田重秀. 1954. 淡水魚の移殖実績について. 魚と卵, 昭和29年12月号, 29-36.
- 田中甲子郎. 1967. 奥日光における水産事業, 淡水区水産研究所資料. B, 10, 156pp.
- 田中正明. 1992. 日本湖沼誌. 名古屋大学出版会.
- 田中正明. 2002. 日本淡水動植物プランクトン図鑑. 584p. 名古屋大学出版会.
- 寺尾俊郎・内山正昭・倉橋澄雄・松本春義. 1963. サケ×ヒメマスの交雑種に関する研究 I 受精卵より当歳魚迄の成長及歩留について. 北海道立水産孵化場研報, 18: 45-58.
- 寺尾俊郎・栗倉輝彦. 1967. 姫鱒「養魚講座 第2巻 草魚・れん魚・うぐい・おいかわ・姫鱒」 (大島泰雄・稲葉伝三郎監修) 緑書房, 東京, 121-179.
- 寺尾俊郎・内山正昭・倉橋澄雄・松本春義. 1968. サケ×ヒメマスの交雑種に関する研究 I 受精卵より当才魚迄の成長及歩留について. 北海道立水産孵化場研究報告, 18: 45-58.
- 寺尾俊郎. 1970. サケ属魚類, 特にサケ及びヒメマスの人工交雑と育種に関する研究, 水産孵化場研究報告 No.25.
- 寺尾俊郎・疋田豊彦. 1973. 支笏湖で採取されたサケ科魚類の大型魚について. 水産孵化場研究報告, (28): 77-89.
- 地学団体研究会編. 1996. 新編 地学事典. 平凡社.
- 地質調査所. 1979. 20万分の1地質図幅 札幌.
- 千歳市史編さん委員会. 1983. 第5編産業, 第2節, ヒメマス, 増補・千歳市史.
- 千歳市環境基本計画
http://www.city.chitose.hokkaido.jp/kankyoku/kihonkeikaku/02_01.html
 千歳市住民基本台帳
 千歳市水道局資料
 千歳市税務課資料
 北海道千歳市. 要覧ちとせ平成15年版.
- 徳井利信. ヒメマスの研究 (III) 支笏湖における産卵群の変動について. 北海道さけ・ますふ化場研報, 1960; 15: 7-16.
- 徳井利信. ヒメマスの研究 (IV) 支笏湖におけるヒメマス産卵回遊について. 北海道さけ・ますふ化場研報, 1961; 16: 127-133.
- 徳井利信. 1963. ヒメマスの研究 (V) 日本におけるヒメマスの移殖. 北海道さけ・ます

- ふ化場研報. 18 : 73-90.
- 徳井利信. 1964. ヒメマスの研究V, 日本におけるヒメマスの移殖. 水産庁北海道さけ・ますふ化場研報. 18:73-90.
- 徳井利信.1965.北海道チミケツ湖の湖沼学的予察研究. 北海道さけ・ますふ化場研報,20 : 107-118.
- 徳井利信. 1965. 支笏湖の物理的ならびに化学的性質. 北海道さけ・ますふ化場研究報告. 19 : 49-59.
- 徳井利信.1969.ヒメマスの研究 (VI) 1962年に支笏湖から降下移動したヒメマスについて. 北海道さけ・ますふ化場研報,24 : 1-8.
- 徳井利信. 1970. ヒメマスの研究 (VI) 1962年に支笏湖から降下移動したヒメマスについて. 北海道さけ・ますふ化場研報, 24: 1-8.
- 徳井利信.1980.ヒメマス 適湖適魚「日本の淡水生物 侵略と攪乱の生態学」(川合禎次・川那部浩哉・水野信彦編) 東海大学出版会,71-78pp.
- 徳井利信. 1988. かばつちえぼ. 秋田豆ほんこの会
- 上野益三. 1931. 北海道湖沼の枝角類. 動物学雑誌. 43: 441-450.
- 浦和茂彦. 1991. 西別川におけるベニザケ増殖. 魚と卵, 160: 3-10.
- Urawa, S. and M. Kaeriyama. 1999. Temporary residence of precocious sockeye salmon (*Oncorhynchus nerka*) in the ocean. Bull. Natl. Salmon Resources Center, 2: 9-13.
- Urawa, S., M. Ban, M. Fukuwaka, T. Suzuki, and M. Kaeriyama. 1999. Progressive technologies for artificial production of anadromous sockeye salmon in Japan. Bull. Tohoku Natl. Fish. Res. Inst., 62: 141-150.
- 内田亨監修. 1967. 動物系統分類学第6巻. 中山書店,171.
- 渡辺宗重. 洞爺湖産姫鱒の幼魚に関する二、三の観察. 北海道さけ・ますふ化場研報, 1959 ; 14 : 5-14.
- Winans G.A.& S.Urawa . 2000. Allozyme variability of *Oncorhynchus nerka* in Japan. Ichthyol. Res., 47(4)
- Wood, C. C. and C. J. Foote. 1990. Genetic differences in the early development and growth of sympatric sockeye salmon and kokanee (*Oncorhynchus nerka*) and their hybrids. Can. J. Fish. Aquat. Sci., 47: 2250-2260.
- 安富亮平・今田和史・川村洋司・伊澤敏穂・有末二郎・日野修次・三上英俊. 阿寒パンケ湖の生物生産過程に関する研究 (1) 湖沼環境条件の変化. 北海道立水産孵化場研報, 1995 ; 49 : 49-57.
- 吉村信吉. 1937. 湖沼学. 三省堂.
- 吉住喜好・麓 龍司. 1956. チミケツ湖の水質について. 孵化場試験報告. 11: 129-134.
- 財団法人リバーフロント整備センター編. 1996 .川の生物図典. 山海堂.
- 財団法人自然公園美化管理財団. 新・美しい自然公園支笏洞爺国立公園 支笏湖.